

Parasilurus microdorsalis Mori ヤナギナマズ
 ※*Coreius longibarbus* Mori ヒゲナガウオ
Pseudoperilampus suigensis Mori スイゲンゼニタナゴ
P. uyekii Mori ウエキゼニタナゴ
Sarcocheilichthys wakiyae Mori ミナミヒガイ
Thymallus jaluensis Mori カワヒメマス
 この他に満洲、北支那産のコイ科などに10種余りの新種がある。

また、本会が昭和21年創立され本学会会長に就任されてからは非常に御多忙な校務の余暇を割いて特に裏日本の魚類を研究され、続々と新種が発表された。門外漢の私の記憶に残るものを拾ってみると、次のものが頭に浮ぶ。すなわち

Allolepis nazumii Mori コブシカジカ
Liparis brevicaudus Mori ヤマトビクニン
Careproctus puniceus Mori シンカイビクニン
Careproctus furcatus Mori オキビクニン
Dasyctotus longidorsalis Mori ヒレナガガンコ
Dasyctotus uchidai Mori アンコウカシガ
Sebastiscus longispinis Mori トゲナガカサゴ

なお、哺乳類で新種、新亜種として発表されたものに次のようなものがある。

※*Myotis formosus chofukusei* Mori コウライクロアカコウモリ

Rhinolophus ferrum-equinum quelpartis Mori サイシウキクガシラコウモリ

※*Erinaceus amurensis koreensis* Mori チョウセンハリネズミ

※*Meriones unguiculatus kurauchii* Mori スナネズミ

Microtus kishidai Mori チョウセンハタネズミ

※*Myospalax komurai* Mori トウモウモグラネズミ

※*Pteromys volans wulungshanensis* Mori ゴリウモモンガ

Petaurista watasei Mori チョウセンムササビ

Nyctereutes koreensis Mori チョウセンタヌキ

Mustela rixosa mosanensis Mori モザンイイズナ

Martes melampus hintoni Mori コウライキテン

※*Charronia flavigula koreana* Mori シラギテン

その他、霹陵島のシネズミやドブネズミを新亜種にして発表されている。

以上、臆面もなく全く素人の私が思いつくままに綴らせて戴いた。もし森為三先生の学界貢献の一断面にもなりましたならば幸と思ひペンをおく。(Jun. 1, 1959)

備考※は改訂増補日本動物図鑑(北隆館 1947)に図説されているものである。

兵庫県淡水魚類目録に1種を追加す

森 為 三

私は「兵庫生物」3巻4号に兵庫県淡水魚類を纏めて発表した。その後、大阪市立自然科学博物館研究員柴田保彦氏から、尼崎武庫三荘の池から採集されたタナゴ3種の標本の寄贈を受けた。其の中に同氏も指摘

せられるように私の目録に未記録のイチモンジタナゴがあるので、簡単なる記載を附して発表する。

Paracheilognathus cyanostigma (Jordan et Fowler) イチモンジタナゴ

No.	性	脊鰭	臀鰭	側線上の鱗数	体長は体高の	同頭長の	全長	産卵管長
1	♂	■/8	■/8	38	3.2倍	4.0倍	65mm	
2	♀	■/8	■/8	37	3.2	4.1	64	26mm
3	♀	■/8	■/8	37	3.2	4.0	49	29

口辺には鬚はない。体高低く、体側を走る1文字の黒色縦条は肩部第5鱗の稍大なる1黒斑から始まる。

本種は我が国本州中部地方の大垣、琵琶湖、淀川水系に産するので武庫之荘辺まで分布せるものと思われる。

尚同氏採集タナゴの中に本種の外 *Paracheilognathus tabira* (Jordan et Thompson) タビラ、*Rhodeus ocellatus* (Kner) バラタナゴの2種がある。